

講義録レポート

講義録コード

02-12-2-101- 11

講 座	公認会計士	項目 (例: 入門 I)	ガイダンス		
目標年	2012 年目標	科目 (例: 簿記)	—		
コース	秋・冬期入学上級コース	回 数	1 回		
		通算回数	— 回		
用 途	個別 VTR ・ テープレクチャー ・ 集合ビデオ WEB ・ 衛星 ・ カセット通信 ・ VTR 通信 ・ 資料通信				
収録日	H23 年 9 月 10 日				
講師名	金沢 先生	講義録 枚数	6 枚 ※レポート 含まず		
		補助レジュメ 枚数	8 枚 サイズ (B5)		
授業構成	60 分 → 分 → 分 分				
実施テスト	有 ・ (無)	(ミニテスト ・ 実力テスト ・ 【 】 答練) 回目			
使用教材	●テキスト { ☆入門 (I ・ II) ☆基礎マスター (I ・ II ・ III ・ IV ・ V) ☆入門基礎マスター ☆上級 ☆修了試験対策 P. ~ P. ●その他テキスト [] P. ~ P. ●その他レジュメ [金沢先生レジュメ]				
配布教材	(有) ・ 無				
	補助レジュメ (B4 / B5 / A4 8 枚) (B4 / B5 / A4 枚)				
	テキスト・問題集 () ()				
備考					
講義録運営者 サイン					

公 認 会 計 士 講 義 録			科 目	コ ー ス	2012年合格目標 秋・冬期入学 上級コース ガイダンス	回 数	1
配 布 物	★ミニテスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし]					講 師	金沢 先生
	★実力テスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし]						
	★補助レジュメ：あり [8 枚] ・なし						
	★配布物なし						

テキスト ページ	黒 板 内 容
	< ガイダンス構成 > ガイダンス (60分) < 使用教材 > ・ 2012年合格目標 上級コースパンフレット ・ 金沢先生レジュメ (B5×8枚)

公 認 会 計 士 講 義 録	科 目	コ ー ス	2012年合格目標 秋・冬期入学 上級コースが197人 回 数 1
-----------------	-----	-------------	--

配 布 物	★ミニテスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし] ★実力テスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし] ★補助レジュメ：(あり) [8 枚] ・なし ★配布物なし	講 師 金沢 先生
-------------	--	--------------

テキスト ページ	黒 板 内 容
	監査論 講師 金沢 伸晃 1998年 勉強 開始 2002年 旧2次試験合格 ↓ 大井監査法人勤務 2006年 旧3次試験合格

公認会計士講義録			科目		コース	2012年合格目標 秋・冬期入学 上級コースガイダンス	回数	1
----------	--	--	----	--	-----	-----------------------------------	----	---

配布物	★ミニテスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目] ・なし	講師	金沢 先生
	★実力テスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目] ・なし		
	★補助レジュメ：あり [8 校] ・なし		
	★配布物なし		

テキスト ページ	黒板内容
	最終合格 効果的 か 効率的 ↙ × やみくもな学習 × 迷信

公認会計士講義録	科目	コース 2012年合格目標 秋冬期入生 上級コースガイダンス	回数 1
----------	----	---	---------

配布物	★ミニテスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし] ★実力テスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目・なし] ★補助レジュメ：あり [8 枚] ・なし ★配布物なし	講師 金沢 先生
-----	--	-------------

テキスト ページ	黒板内容
	バランスのとれた学習 授業 $\longleftrightarrow$ 自習 理論 $\longleftrightarrow$ 計算 理解 $\longleftrightarrow$ 暗記 インプット $\longleftrightarrow$ アウトプット 2年目 0.5 9.5 3年目 2~3割 7~8割

公認会計士講義録	科目	コース 2012年合格目標 秋・冬期入学 上級コースがYダックス	回数 1
----------	----	---	---------

配布物	★ミニテスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目] ・なし ★実力テスト：あり [回目] ・なし [配布あり 回目] ・なし ★補助レジュメ (あり) [8 枚] ・なし ★配布物なし	講師 金沢 先生
-----	--	-------------

テキスト ページ	黒板内容
	膨大な量 — 効率を高める 受動的 ↔ 能動的 ↓ ・予習 ・授業の中で覚える努力をする

公 認 会 計 士 講 義 録				科 目		コ ー ス	2012年合格目標 秋・冬期入学 上級コースが19ツ入	回 数	1
-----------------	--	--	--	--------	--	-------------	-----------------------------------	--------	---

配 布 物	★ミニテスト：あり [	回目] ・なし [配布あり	回目・なし]	講 師	金 沢 先生
	★実力テスト：あり [	回目] ・なし [配布あり	回目・なし]		
	★補助レジュメ：あり [	8 枚] ・なし			
	★配布物なし				

テキスト ページ	黒 板 内 容
	予習 → 授業 → 復習 ⇒ 答練等 ↑ ↓ X 消点主義

1. 上級を受講する前の意識チェック

以下に示す表の内容に対し、正しいと思うものは○、正しくないと思うものは×をご記入ください。

No.	質問	○or×	理由
1	自習こそすべてだ。授業は正直受けなくてもいい科目もあると思っている。		
2	朝早くから、夜遅くまで予備校にすることが重要だ。		
3	上級期は計算科目を重点的に勉強するべきで、理論科目は直前期に一気に勉強すれば十分だ。		
4	理論科目は、理解しておけば十分だ。		
5	計算科目の問題演習は、総合問題を100点取れるまで復習することが重要で、一度100点取れた問題もその後も何度も見直すべきだ。		
6	与えられた答練・アクセス等は、必ず満点を得る必要がある。		

(参考情報)

- ・ 本年度の財務会計・計算のコマ数は、5コマとなります。詳細は、『科目別学習法』P.2 参照
- ・ 本年度の経営学（通常上級）のコマ数は、入門がなくなった関係から、14コマ（昨年度9）となります。

学習認識テスト（回答はあくまで私見です。）：バランスのよい学習を心がけてください！

No.	質問	○or×	金沢私見
1	自習こそすべてだ。授業は正直受けなくてもいい科目もあると思っている。	×	授業で論点の本質やポイントを習わずして自習しても、試験において使えない！
2	朝早くから、夜遅くまで予備校にすることが重要だ。	× (△)	予備校で学習することは重要だが、ただいればいいという問題ではない。 → 効率よく、学習して、適度の余暇を確保する。
3	上級期は計算科目を重点的に勉強するべきで、理論科目は直前期に一気に勉強すれば十分だ。	×	・ 直前期に計算科目を勉強しないと、確実に実力は下がる。 ・ 理論科目の授業で習ったことをすっかり忘れてしまうため、闇雲な暗記に走りがちになる。 → 結局、最終的に合格することが困難になる。
4	理論科目は、理解しておけば十分だ。	×	理解した内容は、覚え続けていなければ、理解している（し続けている）とは言えない！ → ある程度覚えないと、解答スピード・精度も高まらない。
5	計算科目の問題演習は、総合問題を100点取れるまで復習することが重要で、一度100点取れた問題もその後も何度も見直すべきだ。	×	闇雲に総合問題を解いても、真の実力は付かない。 → 実力を向上させるためには、この問題を解くことによって、どのような効果が得られるか考えるようにする。 ：自己満足にならないように！
6	与えられた答練・アクセス等は、必ず満点を獲る必要がある。	×	多くの場合、合格点は、満点ではない！ → 広範囲の学習を強いられる以上、満点主義は捨てる！

（参考図書）大人のためのハイスピード勉強法（和田秀樹 PHP出版）

効率よく、効果的な勉強を行うためには、何が必要なのかを書いた名著です。

→ 勉強方法に迷ったら、ご一読ください。

(MEMO)

2. 合格する人の特徴

① 失敗を経験している人

② 勉強が習慣化している人

：(入門上がりの方) 従来より、入門・基礎マスター期において、「本当の受験生」レベルの学習量をこなせている人は少なかった

→ 入門基礎の復習、上級の復習をこなすための勉強時間の確保を！

3. 上級期における学習のコツ

→ 大まかな方法：個別詳細は、各科目担当講師からアナウンスがあると思います。

① (全科目共通) 授業を受ける際は、少しでもいいから予習をして望む！

以下の効果があります。

- ・ 準備ができているため、授業を受講する上でのストレスが大幅に軽減される。
- ・ テキストを読んで理解できないところを中心に授業を聞くことになるため、授業の消化不足が少なくなる。
- ・ 授業ストレス及び授業の消化不足が減ると、復習効率が高くなる。

② (財務会計論・管理会計論) 計算と理論をセットで勉強する！

→ 上級テキストを予習して次の授業の分野を把握する。その上で、適宜入門基礎マスターのテキストの復習を行って授業に望む

⇒ 「後で関連する計算の論点を思いだそう」よりも、「先に関連する計算の論点を復習しておこう」の方が、理論授業の理解度に差が出てくる。

③ (全科目共通) 目次をチェックリスト代わりに使う！

- ・ 論点の網羅性チェックに使う。
- ・ 目次を見て、論点のポイントが思い出せない場合、理解・暗記不足であることが分かる。

④ (全科目共通) 一日 10 分程度でいいので、自己分析をするようにしてください。

→ 受験勉強は、地道な努力が必要となります。膨大な内容の理解と暗記が求められます。ともすると、苦痛を伴う作業から逃れ、自分がやりたい勉強に偏ってしまう可能性があります。このようなことがないように、次のページに記載したシート等を利用し、常に弱点を見つけて粛々とつぶす努力を行ってください。

⇒ (上級生) 本シートを利用し、弱点が多い科目は、通常上級授業を受講することを検討しましょう。
(入門生) 積み残しをせずに、バランスよく授業の予習・復習を行えているか検討しましょう。

⑤ (全科目共通) TACを最大限に利用する。パンフレット P. 31～P. 48

- a) 広範囲をカバーした店舗展開 P. 32～33
- b) 全受講スタイルで講義音声ダウンロードフォロー P. 34→アクセスも DL 標準装備！
- c) 充実の質問体制 P. 41 → FACE to FACE の質問体制！

自己分析シート

「とりあえず」の勉強からの脱却 → 定期的に見直しを行ってください。

得意・ 不得意	強み (成果) 今までの自分を振り返って	弱み (反省) 今までの自分を振り返って	勉強の方針 (又は今日の実績) (インプット・アウトプット別)
財務会計論・計算			
財務会計論・理論			
管理会計論			
企業法			
監査論			
租税法			
選択科目			

4. 上級ストレート本科 (P18)・論文専攻上級本科 (P20) の活用方法 (短答対策)

- ・ 授業の前に簡単な予習を行う。
- ・ インプット講義に出席して、正しい理解を行う。→ 欠席フォローは適時に行う (DL P34, 振替 P38)
- ・ 理解した内容を覚え続けられるように、継続的に復習を行う。
- ・ 自習を行っていく過程の中で把握した弱点を補強する。

充実の質問体制 (P39) や Re-view 等オプション講座をうまく利用 (P26～27)

- ・ アウトプット答練等を活用し、**短答の解答力**を付ける。→ アクセスもうまく活用 (P24)

アクセス：財務会計・管理会計・租税法 : 事前の準備が重要！

- ・ 短答2回をうまく利用し、来年の論文試験への切符を獲得する。

(論文対策)

- ・ 予習して講義に臨み、正しい理解を行う。→ 欠席フォローは適時に行う (DL P34, 振替 P38)
- ・ 理解した内容を覚え続けられるように、継続的に復習を行う。
- ・ 自習を行っていく過程の中で把握した弱点を補強する。

充実の質問体制 (P39) や Re-view 等オプション講座をうまく利用 (P26～27)

- ・ 年内からアウトプット答練等を活用し、**論文の解答力**を付ける。→ アクセスもうまく活用 (P24)

: 財務会計論のアクセスについて、1～10 回は、短答対策のものであり、論文先行上級本科生には配付されませんのでご注意ください。P25 参照



定期的にWEB個人別成績表を見て、ご自分の位置づけ及びライバルの状況（平均点等）を把握する！
P. 37

5. 目標は、明確に！自己管理を徹底しましょう！

勉強をする際には、「目標を達成するために、何をしなければならないか」をきちんと意識するようにしましょう。目標を設定しないと、自分がやりたい勉強に偏りがちになってしまいます。期間を区切って（たとえば、1ヶ月等）達成する目標を立て、それを逆算するように、日々の学習ノルマを設定しましょう。

そして、進捗度管理も必ず行いましょう。そうすることで、達成感も生まれ、集中力の持続に役立ちます。是非、ノート等を利用し、実践してみてください。

（参考）勉強記録をノートの効用

今まで何を勉強したかを「脳みそ」の中に記憶し続けることは無駄である！

しかし、勉強の軌跡が残っていないと、自分の実力及び行うべき勉強方法が見出せない

- ・ 簡単な勉強内容・時間の把握 → 自己管理につながる
- ・ 失敗を記録する → 人間の脳は、嫌なことは忘れるようになっている。
しかし、失敗を忘れると、同じ失敗を繰り返す！

6. 安心して受験勉強をして頂くためのTACの体制 パンフレットP.31～P.48

- ・ 講師による質問・相談コーナー：FACE to FACEの質問体制！（P39）
- ・ 成績相談によって、自分の弱みや進むべき学習方法を相談する！（P37）
- ・ 充実した就職サポート体制を利用し、就職への不安を払拭する（P42～47）

就職対策講義・就職説明会・監査法人就職活動支援・個別進路相談・就職準備研修

→ 就職について、ご自分でインターネット等で調べると、不正確な情報や誤ったうわさに惑わされてしまう可能性があります。心配であれば、キャリア・サポートセンター（0120-527-699 又は <http://hapilala.jp/tcs/portal>）に問い合わせてください（詳しくは、P.47）。

7. よくある質問（解答内容は、あくまで私見です。）

① 秋期上級が始まるまで、とりあえず、過年度のアクセス等計算の総合問題を解いておけばいいですか？

(A) いいえ。学習全般に言えることですが、「とりあえず」こなすという発想の学習は、高い効果を生み出しません。入門期又は前年度の弱点補強を行うことが最優先です。

そのためには、計算科目のみならず、理論科目を含めて、自分の弱点を補強すべく、全てのテキスト・レジュメ等を読み返し、どの論点が苦手であるかを明確にすることが最も必要です（時間は有限ですので、期限を区切って一気に見直しましょう）。その上で、どのように対処すれば、苦手な論点を克服できるか自ら考えたり、講師に質問するなどを行うようにしてください。

弱点補強のためには、レビューがおすすめです！（パンフレットP.26～27）

② 計算科目は、総合問題と個別的な問題（トレーニング等）はどちらを優先的に勉強すべきですか？

(A) どちらの学習も重要ですが、苦手な方はまず個別的な問題（トレーニング等）を学習してください。理由は、以下の悪循環にはまらないためです。

個別的な問題を軽視（A）→総合問題の中の個別問題が解けなくなる（B）

→総合問題の復習に時間を割かれ、自習時間が足りなくなる（C）→個別的な問題を軽視（Aに戻る）

③ 過年度生ですが、金銭的な問題もあり、上級論文答練バック（パンフレットP.22）を取ろうと思うのですがどうでしょうか？

(A) お勧めしません。理由は以下の通りです。

- ・ インプット講義を受けない期間が長くなると、正しいインプットが阻害され、誤解が多くなる。
- ・ 上級論文答練バックの方の合格実績がさほど高くない。

→ 金銭的な事情があるのであれば、奨学生選抜試験（P.75）で高い順位を目指すべきです。高い順位を取れなかった場合には、アウトプット訓練のみならず、インプットの再実施を行った方が合格可能性を高めることになるので、インプット講義を取るべきと言えます。同じ講師の授業を再度聞くことに抵抗があるのであれば、講師を変えてでも上級を受け、インプットの強化を行うべきと考えます。迷われた方は、お気軽にご相談ください。相談方法は、P.74 及び P.39 をご参照ください。

④ 自習を優先したいので、講義はすべてダウンロードフォローで受けたいのですがどうでしょう？

(A) 一長一短があるので、なんとも言えません。苦手科目があるのであれば、教室講義（特に、生講義）を受講された方がよいと思います。

	教室講義（特に生講義）	ダウンロードフォロー
長所	・ 集中して授業を聞くことができる。 ・ 不明点はすぐに質問できる。	・ フレキシブルに授業が聞ける。
短所	・ フレキシブルに授業が聞けない。 → しかし、それが集中力を高める原動力になる。	・ 集中力を欠き、学習効果が高くない可能性がある（授業は、ただ聞きながしたところで意味がない） ・ 不明点をすぐに質問できない（質問コーナー等を利用）